

昨日の自分を越えようとする生徒の育成 — 探究的な学習過程の設定とICTを用いた遠隔合同授業を通して —

長期研修員 倉澤 秀祥

～研究構想図～

国や県の教育課題

- ・「自分の頭で未来を考える力、動き出す力、生き抜く力をもった人」の育成
- ・非認知能力（自己肯定感、粘り強さ、主体性、コミュニケーション能力）の育成
- ・多様性のある学習活動を保障していくため、ICTを用いた交流が必要

小規模校の課題

- ・人間関係が固定化し、発言・発表する生徒が決まってしまう
- ・相手意識をしてコミュニケーションを取ることが難しい
- ・ICTを用いた遠隔合同授業をどのように進めたらよいか分からない

教師の願い



相手意識をもって前向きに学習に取り組んでもらいたい。どのように授業を進めていこうか。
自分の考えを提案したり、発表したりする活動を通して学習した内容を現実社会と関連させ、考えを深めるとともに自信を高めてほしい。

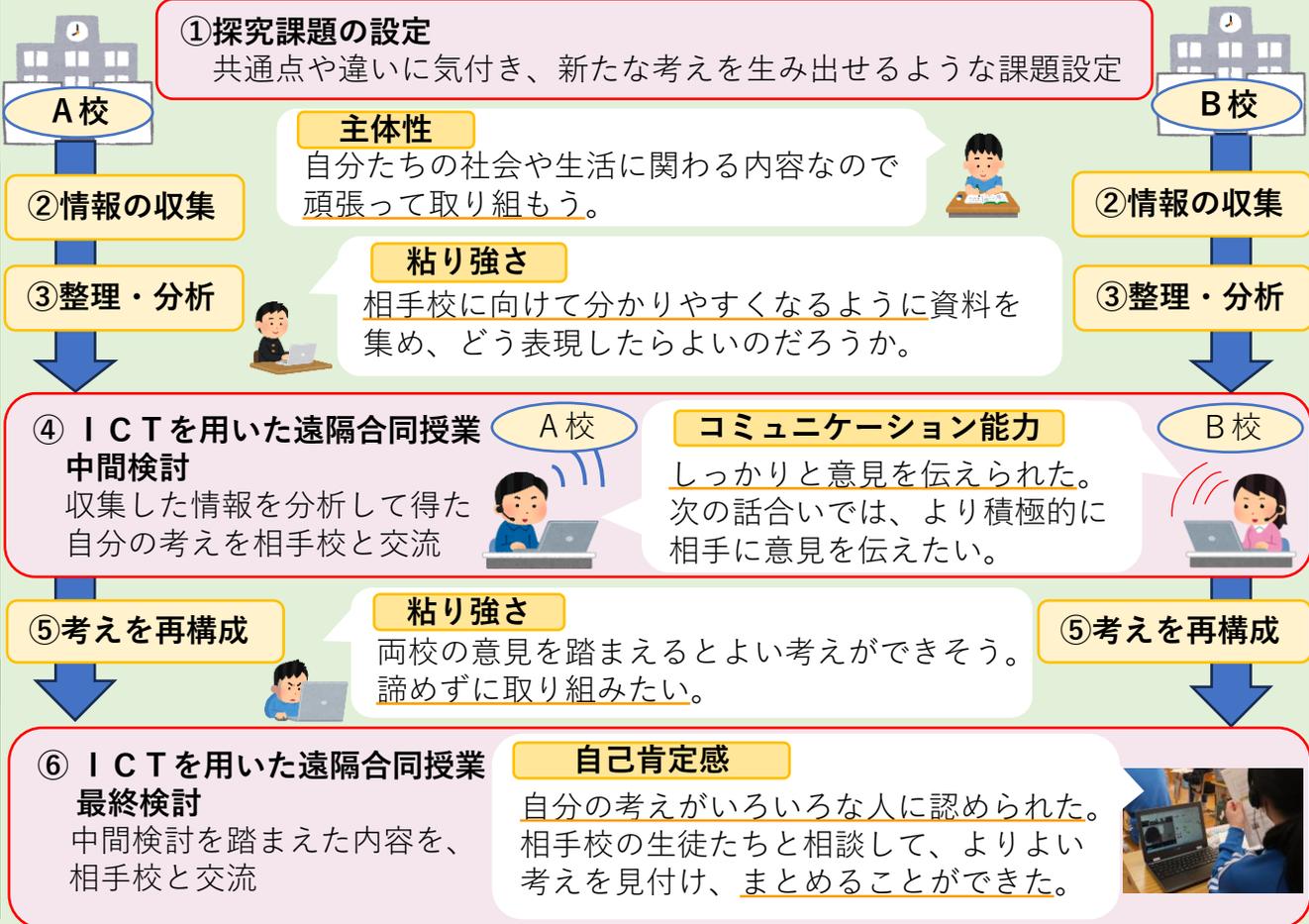
探究的な学習過程の設定とICTを用いた遠隔合同授業

□ は各校で実施する探究的な学習過程 □ は探究的な学習過程と遠隔合同授業に関わる内容

つかむ過程

追究する過程

まとめる過程



昨日の自分を越えようとする生徒の姿

他者と協働し自他の考えを尊重しながら、粘り強く主体的に、現実的な課題について考え、よりよい社会を構築しようとする生徒

授業実践 中学校社会科 第3学年「地方自治と私たち」〈全8時間〉

つかむ過程

①探究課題の設定 **主体性** 他自治体の政策も見ても違いを見つけてみたい。
片品村・下仁田町の山間地域を活性化する政策を県議会に提案しよう

②情報の収集 ③整理・分析 **粘り強さ**
自分の自治体と他自治体と比較しながら調査
自分の自治体の状況を相手校の人に伝えるために、どうすればよいか。

④ ICTを用いた遠隔合同授業 中間検討 **コミュニケーション能力**
両自治体の共通するよさ・共通する課題を考え、もう一度地域を見直す

思考ツールの活用 SWOT分析図

片品村	地域に住む人の視点 (片品村)	他地域に住む人の視点 (下仁田町)	共通する課題やよさは？
よさ (強み)	夜空がとてもキレイ 自然がとても豊か 鹿や猿などの動物が見られる	色々な動物が見られる	自然が豊か 動物も多い
課題 (弱み)	人口減少、少子高齢化 クラス半数以上は、将来片品村を出ると考えている。	少子高齢化が進んでいる 人口減少	観光場所がある
下仁田町	地域に住む人の視点 (下仁田町)	他地域に住む人の視点 (片品村)	共通する課題 (弱み)
よさ (強み)	サラダパーク、ねぎとこんにやく、荒船風穴、道の駅、神津牧場、あじさい園、などの観光自然に囲まれている	山が多い 道の駅や牧場などの観光場所が多くある	人口が少ない 有害鳥獣
課題 (弱み)	メインで観光する場所がない 少子高齢化が進んでいる	人口が少ない メインで観光できる場所が少ない 少子高齢化	少子高齢化

自然が豊かで動物も多い。特産物があるのは共通するよさだね。

鹿や猿などの有害鳥獣は両自治体で出るのかな？



追究する過程

⑤考えを再構成 **粘り強さ**
整理・分析、情報の収集
前時を基に政策の立案
話し合いや学習履歴を見直そう！
有害鳥獣問題はジビエ料理の開発で解決し、地域の活性化につながるのではないかな。
交流を基に考えを練り直す姿

⑥ ICTを用いた遠隔合同授業 最終検討 **自己肯定感**

県議会に提出する政策を効率や効果の視点から検討する

NO1の政策（空き家カフェ）は新しい建物を建てる必要が無いので**効率**がよいよね。
効果の面でも観光客を集められると思う。

No12の政策（害獣駆除をし、それを食べる）もよいよね。
効率・効果がどちらも高いと思う。

NO1、12の二つの政策を**組み合わせる**のはどうかな？
ジビエカフェの提案はどうだろうか。

なるほど、それなら**両提案のよさが生かせる**ね。
この案を提案しよう！ **他校の生徒と合意形成する姿**

思考ツールの活用 2軸チャート図



まとめる過程

昨日の自分を超越しようとする生徒の姿

両自治体のよさ・課題から政策を作成する活動を通して、相手に納得してもらえるように政策を考えたり、質問に答えたりするのは大変だった。地域をよくするためには、地域を理解し、私たちにできることを**自信をもって提案**することが大切だと思った。

〈成果〉

探究的な学習過程の設定と ICTを用いた遠隔合同授業は、生徒の思考力や自己肯定感を高めることに有効であった。小規模校における学習活動の課題を解決するために有効であった。

〈課題〉

地域差や学校の特色を踏まえて、学習課題を設定する必要がある。定期的な実施に向けて、時間割や学習進度の調節、ICT環境の整備などの課題がある。

〈提言〉

群馬県内でオンラインの交流がしやすい環境づくりを進め、探究的な学習過程の設定と ICTを用いた遠隔合同授業の実践を通して、生徒の自己肯定感を高めることや主体性、粘り強さ、コミュニケーション能力を育てることができるようになっていきたいと思います。